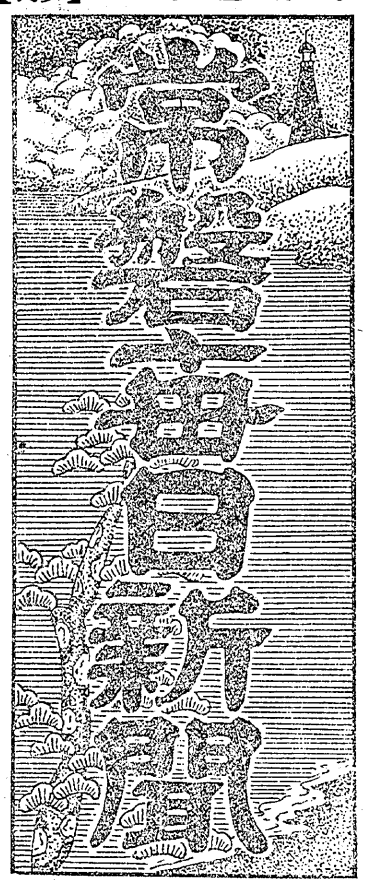
（大正十二年十一月八日第三種郵便物認可）　昭和五年十月卅一日　常磐毎日新聞　〔金曜日〕〔第二千廿五號〕　〔一〕

十月三十日【夕刊】



定價一部金貳錢一月五十錢郵稅五厘
廣告料五號十三字詰一行十五錢
休刊日日曜・大祭祝日ノ翌日
發行兼編輯人川崎文治
印刷人
福島縣石城郡平町長橋三丁目五三
發行所常磐毎日新聞社
電話三六〇番

國民道德の大道を示され

教育の大本を確立し給ふ けふの記念日に際し 小柳知事謹んで語る

本日の教育勅語煥發滿四十年記念に際し小柳本縣知事は謹んで左の如く語る

茲に教育勅語煥發四十周年記念日に當りまして一言所感を述ぶるは洵に欣に堪へない所であります、惟ふに明治天皇維新の當初五箇條の誓文を

神明に 捧げられ皇國の宏謨を弘め給ひし後開國進取の氣運が頓に進み、外邦の文物は殺到して物質文化の急進となり、我が國古來の精神文化に動搖を起すに至りました時に當りて畏くも臣民の敎養に痛く軫念あらせられ、明治二十三年十月三十日勅語を下し賜ひ我が健國の

大精神 に基ける國民道德の大道を明示せられ、教育の大本を確立し給ふたのであります、御示しになりたる道は古今に通じて謬らず中外に施して悖らざる天地の公道でありますが同時に我が固有の國體に基き皇祖皇宗の御遺訓に遵ふ所の國臣的

特殊性 を有するのであります、これを換言すれば世界人類に普遍なる永遠の眞理を我が民族の特殊性に即してこれを實現せむと期するのであります、又更に換言すれば天地の公道永遠の眞理を實現することが我が健國の大精神であり又我が民族祖先の實踐し來つた所であります實に勅語は

德敎の 方針に關する最高最美の聖典であります隨つて萬世に亘つて決したる愈るべき道理はありませぬ、宜敷常に御聖旨を奉體してこれが實行に努め、以つて報効の誠を盡すべきであります、熟々勅語の煥發せられたる當時の事情を回想するに明治維新後知識を求めんとして盛んに

西洋の 文物を輸入しましたので、西洋心醉の度甚だしく生活樣式は勿論社會通念に至るまでこれを模倣し文明と言へば歐化を意味するに至りました、こゝにおいて又一方日本精神の振興風俗習慣の維持の運動擡頭して國民思想の上に混亂を來し、群議百出互に對峙して相下らず、學校における德敎の方針の如きも一定せず、人々その何れに適從すべきかに迷ふ

狀態で ありました而して此思想の混亂は明治二十年前後が最も甚だしかつたと思ひます、斯る際に勅語の煥發せられましたのは恰も密雲を披いて天日の光明を放つが如き有樣で國民に此處にその嚮ふ所を一にすることを得たのであります、爾來春風秋雨茲に四十年この間幾度か國歩の艱難に逢着しましたが更に搖らぎなき

帝國の 姿を眺むる秋そのこゝに至れる國民道德信念の根源である御勅語の御一句御一語に金玉の御響きを聞きていよ〳〵明治天皇の御聖德を仰ぎ奉ると共に生を本邦を享けたる僥かなる恩惠に感激新たなるを覺ゆる次第であります。

平町小學校兒童が勅語謹寫

紅白の餅を分配

けふの勅語煥發四十周年記念日に際し平第一、第二、第三各小學校に於ては午前八時國旗揭揚式を行つて後學校長が夫々敎育勅語を奉讀して生徒に訓話を爲し、終りて尋常科一年より三年迄の生徒は勅語の內の文字を選んで淸書し、尋常科四年生以上は勅語を謹寫し紅白の餅を分配されて大喜びであつた。

鄕軍表彰者

石城郡下の諸氏

帝國在鄕軍人會では創立卅年記念として、來る十一月三日を卜し功勞者を表彰する由であるが、石城郡下では左の諸氏であると。

砲兵少尉山崎淸三、步兵少尉加藤丈夫、二等軍醫根本莊次郎、三等軍醫羽岡平次郎、步兵少尉大平菊次郎、步兵特務野川壽次、同小野忠衛、

水道擴張工事鍬入式

愈々來月一日と決定

平町水道擴張工事は別項記載の如く愈々來月早々開始される事になつたが是れが鍬入式は來月一日午前八時に貯水池に於て執行されると。

失業登錄者浮み上る

人夫約百名を採用 擴張工事開始

平町水道擴張工事は愈々來月六日頃から、石城郡好間村字上野原貯水池を着工する事になり、人夫約百名を採用する事になつたので這般失業登錄をした二百廿名の分の幾分が浮み上る譯である。

腕ッ節の強い人間を作る西山氏

平驛に立ち 乘降客に謹解を配布

磐中と平商各生徒が、磐城中學校及び平商業學校生徒はけふの勅語記念日に敎育勅語謹解を平驛に於て乘降客に對し夫々配附した

小名濱實業公民學校長にして本年四十五歲の働き盛り師範學校卒業後各地に小學校長を勤め去る大正七年以來現職にあり「腕ッ節の強い人間を作る」をモットーとして實業敎育に當り、さきにその功により從七位奏任待遇學長となつてゐる、殊に敬服されるのは本籍地を小名濱に移し墓場まで造つて敎育の振興を心がけてその結果同校は縣下唯一の充實した學校となつてゐる

是れとも村の事業に

漁港實現をと 豊間村長等が出縣

石城郡豊間村では大敷網による漁穫高だけでも年額卅萬圓に達して居るところ、避難港としての設備不完全なのを遺憾とし、六年度よりは是非共村の事業として工費十九萬餘圓を投じ起工すべく、縣の補助を申請する事となり、廿八日志賀村長外數名出縣したと。

村岡女史の演題が決定

平町で講演

既報平婦人會及び平女子青年團の各總會に講師として招聘される村岡花子女史の演題は左記の如くであると

（女子青年團）生活を藝術と見て（婦人會）非凡なる平凡。

秋刀魚列車

四倉から

四倉方部の秋刀魚漁は益々盛んになつた爲め、仙臺運輸事務所では去る廿五日から十一月末日迄の豫定で四倉八王子間、四倉塩屋間貨物列車に代用車を增結して輸送の便を圖る事になつた

學生の映畫觀覽

今後嚴重に

平町の各中等學校が校外取締として列車通學生の風紀に關し協議した事は既記の如くであるが、更らに活動寫眞觀覽の取締りにつき今後は各學校共一層嚴守なる樣徹底的の取締りを申合せた。

湯池幸平氏農村視察に

貴族院議員湯

池幸平氏並に岩城、土岐、米倉の三子爵は農村視察の爲め來月十一日常磐線下り列車で來郡磐崎村を視察し郡山方面に向ふと。

お醤油は

醤油味噌
たひら正宗
鰹節食料品

山崎合名會社

鹽屋

福島縣平町
電話〔營業部一一〇番
　　釀造工場二七番

今般全員ノ協議ニ基キ左ノ事項決議致候ニ付キ大方ノ諸彦何卒御了承被下度願上候

敬白

一、自今酒一本ノ定價
金三十五錢、金四十錢、金五十錢ノ三種ニ分ツ但シ御客樣ノ申込ニヨリ宴會等ノ便宜取計ヒニ應ズル事
一、ビール壹本金六十錢（高級品）
一、サイダ壹本金三十錢（金線三矢シトロン）
一、酒、ビール、サイダ、ノ持込ミハ絶對廢止スル事
右ノ通リ通達ノ日ヨリ實施仕候

平料理屋組合

顧客各位

貸切は他の追從を許さゞる破格最低料金の

磐城タクシー

電話四五四番

平驛前

時勢に鑑み

斷然値下!!!

調理●吟味……江戸前式

ぜひ一度御試食を！

手打うどん。そば　五錢
天玉とじ　南拾錢
天ぷらそば　拾貳錢
鍋やき　拾貳錢
鳥南　拾五錢
カレー南　拾五錢
親子そば　貳拾錢

今度皆樣の御すゝめによりまして、ゆであづき、しるこぞうに相始めました。
ゆであづき　參錢
しるこ　八錢
ぞうに　八錢

●出前迅速

平町南町一五魚敬隣り

新丸屋

電話呼出六一七番

正確ナ體溫ト寒暖計ハ當大藥局
電四〇番

皆樣の

昭和タクシーは

今回全部使用車を

三〇年式新型セダンに

入替ました　何卒御用命を

平驛前　電三四三番（サシミ）

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

消費節約

品質本位　家庭染料

みやこ染

平町一丁目

特約店　大平屋藥店

電六四二番

新築落成披露

平町に於けるカフエーステージは皆樣の御引立に依りまして御蔭樣で繁昌致しました、先月來食堂改築中の處此程落成致しました何處から何處まで明るいトテモ感じのよい平町に於ける代表的なカフエーステージは皆々樣の御光來を御待ちして居ります

九月五日ヨリ開店

カフエー　ステージ

電話七六五番

美佐男御召と

優秀銘仙陳列特賣

三井呉服店

黒小倉學生服

今年はウンと安くなりました
型も新しく裁縫も丈夫に
皆樣にホメて頂ける自信ある
冬服を……澤山揃ひました

特製品　小學生用　なつぼんつき　2円00錢より
特製品　中學生用　3円00錢より

なかや洋服店

平二　電203

杵壽司の

煮込おでんと

小料理で

是非一杯召上れ

（鮨の種は常に色々取揃へてあります）

電六七九番

出前迅速

秋の旅行や山遊びの友

驚く程よく寫る！

タッタ一圓の

富士カメラ（附屬品附）

暗室要らずに日晝……現像、燒付まで即時に場所を選ばず小學生にも完全に出來る
最も進歩した寫眞機です
委しい使用說明書が付いて居りますから何方にも直ぐ出來ます
御不明の點は御遠慮なくお聞き下さい

特約店　いづみや玩具店

平驛前